

令和7年10月1日

保護者様

京都市立南大内小学校
校長 高田 陽子

令和7年度 学校評価アンケート<前期>

平素より本校教育推進に多大なご支援・ご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、6月末に実施しました学校評価アンケートの結果についてお伝えします。アンケートの数値と子どもたちの様子や保護者の皆様のご意見をもとに、計画・実行・点検・検証（PDCA）のサイクルで学校教育の充実と向上を図りたいと考えております。

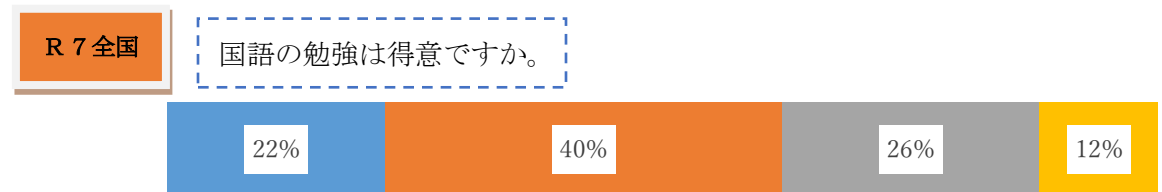
*グラフの項目、左より 「そう思う」「大体そう思う」「あまりそう思わない」「そう思わない」

R7全国 は令和7年度の全国学習状況調査質問紙の回答結果を示しています。

1 「確かな学力」の育成に向けて

本校の学校教育目標の中に、『自らを高める』とあります。本校では子どもたちが「主体的に学ぶこと」を実現し、自らを高めることができる資質・能力を育てることを目指しています。

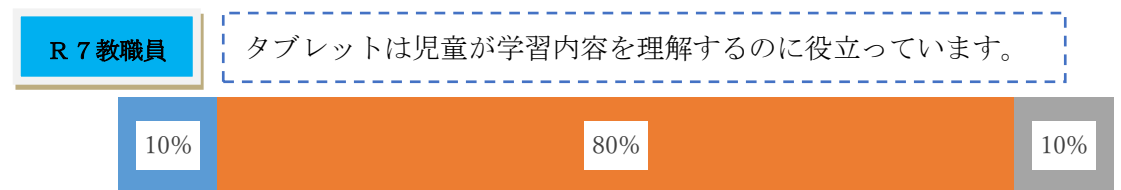
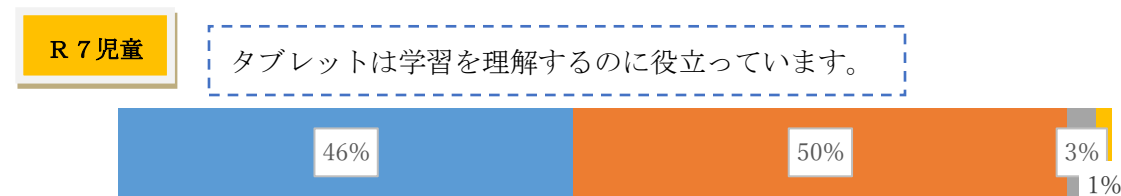
『自らを高める』を実践できているか以下のアンケート項目の結果をご覧ください。



児童アンケート項目「国語・算数の勉強が分かります。」と全国学力学習状況調査質問紙項目「国語・算数の勉強は得意ですか」の比較です。「分かる」と「得意」での比較にはなりますが、国語科と算数科ともに「そう思う」「大体そう思う」と回答した割合が全国よりも高いことは嬉しい限りです。今後も「分かる」が増えるような授業を行っていきます。

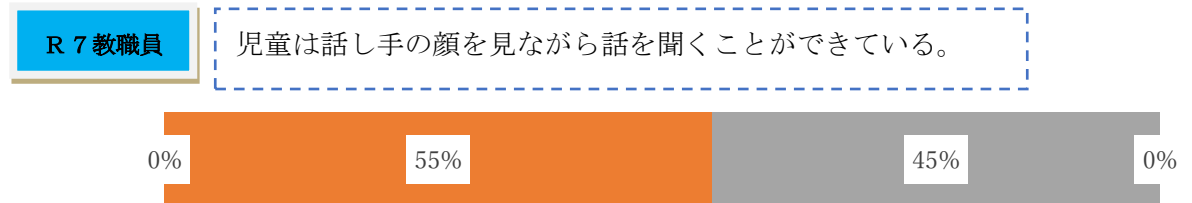
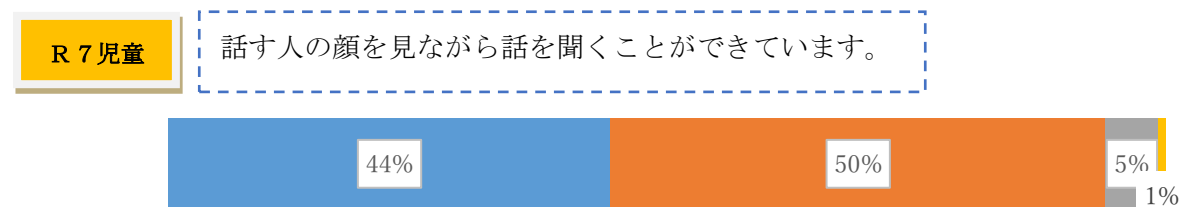
本校児童の回答結果だけに着目すると、算数科の方が苦手としている児童が多いことが分かります。算数科は他の教科に比べて、特に積み上げが大切な教科です。どこかの学年で理解度が不十分な単元があると、つまづいてしまう教科と言えます。

この結果を受け止め、より丁寧に指導し、場合によっては既習内容の復習に時間を当てたり、宿題等で児童が苦手な部分を学習したりしようと思います。



1人1台端末が導入され、数年が経ちます。京都市では今年度の2学期から2nd GIGA端末(iPad)に変更になり、よりスムーズに起動し、操作がしやすくなりました。

さて、「タブレットは学習を理解するのに役立っています。」の回答結果を見ると9割以上の児童が「そう思う」「大体そう思う」と回答しています。しかし、教職員の「タブレットは児童が学習内容を理解するのに役立っています。」の解答結果を見ると、「そう思う」はわずか1割に留まっています。そこには、端末を用いる際の良さとは別に、改善が必要な部分はまだあると感じる教員が多いからだと考えます。例えば、「学校で決められたルールを守れていない。」「学習とは関係のない使い方をしてしまう」などです。多くの課題や改善点がありますが、今後も学校全体で端末のよりよい活用を考え、児童の学力向上に活かせるように努めていきます。

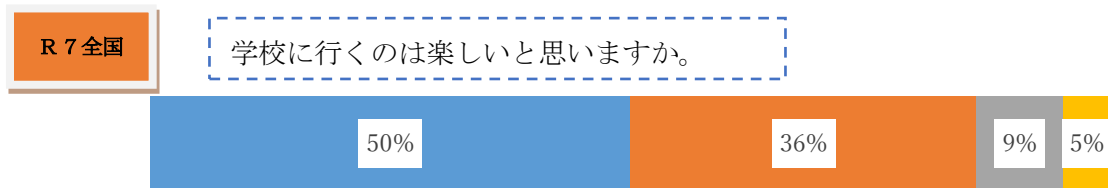
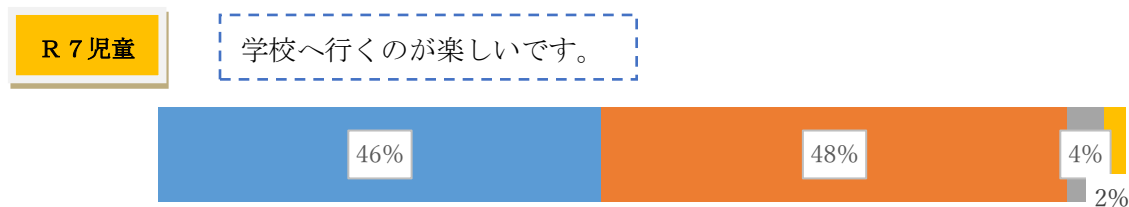


児童アンケート項目「話す人の顔を見ながら話を聞くことができます。」の回答結果を見ると「そう思う」と「大体そう思う」で94%を占めています。しかし、教職員アンケート項目「児童は話し手の顔を見ながら話を聞くことができる。」の回答結果をみると「あまりそう思わない」が45%になっており、児童との回答結果に大きな違いがあります。教職員がそうであってほしいと願う「聞く姿」を児童に今一度伝えることが大切だと感じています。

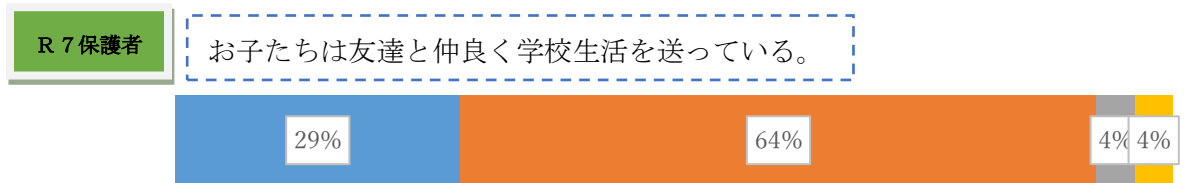
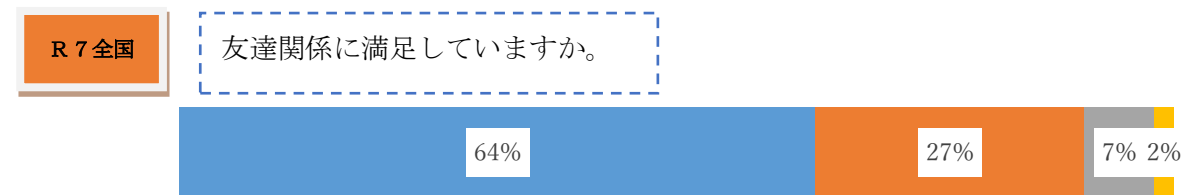
2 「豊かな心」の育成に向けて

豊かな心の育成のためには、互いに、支えあい、高め合う集団作りが大切です。そして、豊かな友だち関係は学校が楽しいと感じられる大きな要因です。本校ではトラブル等を素早くキャッチし、教職員全体で情報共有を行い、トラブル解決に臨んでいます。

子どもたちが日々の学校生活を安心して笑顔で過ごすことで、豊かな心の育成につながると思います。



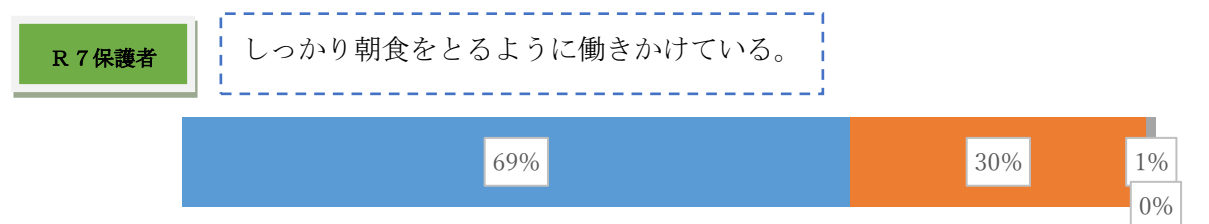
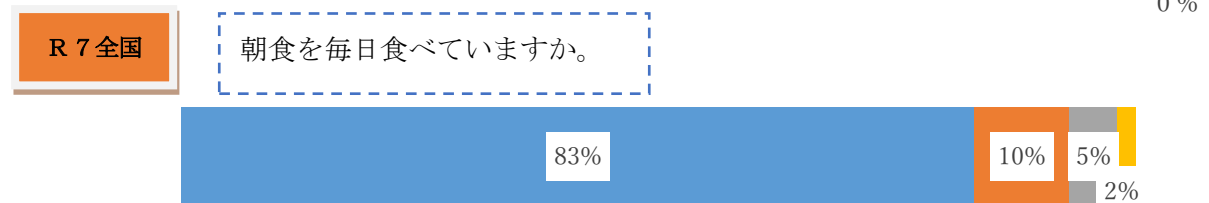
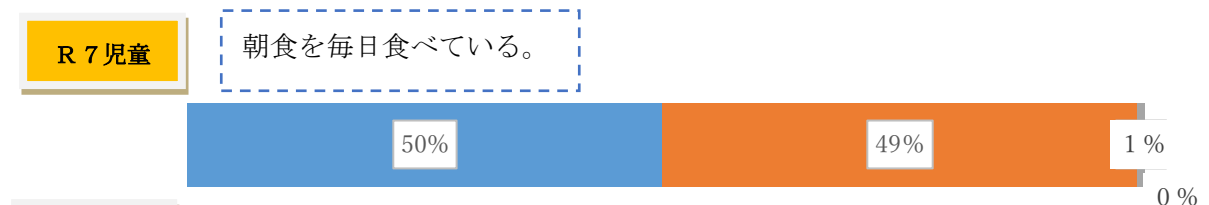
「学校へ行くのが楽しいです。」の項目を見ると、楽しいと感じている児童が多いことがわかります。全国学力調査質問紙の「学校に行くのは楽しいと思いますか。」と比較しても本校児童が安心して登校できていると思います。しかし、「そう思う」だけに着目すると全国よりも少しだけ低い値になっています。本校では2学期より児童の「心の健康チェック」を端末で毎朝行っています。身体の健康観察とは別に、気持ちや気分の健康チェックです。教職員はそれらを確認し、気になる児童に声かけをしています。その取り組みが、児童にとって学校がより安心できる場所になるものだと考えています。学校全体で「学校が楽しい」と思える児童を増やしたいと思います。



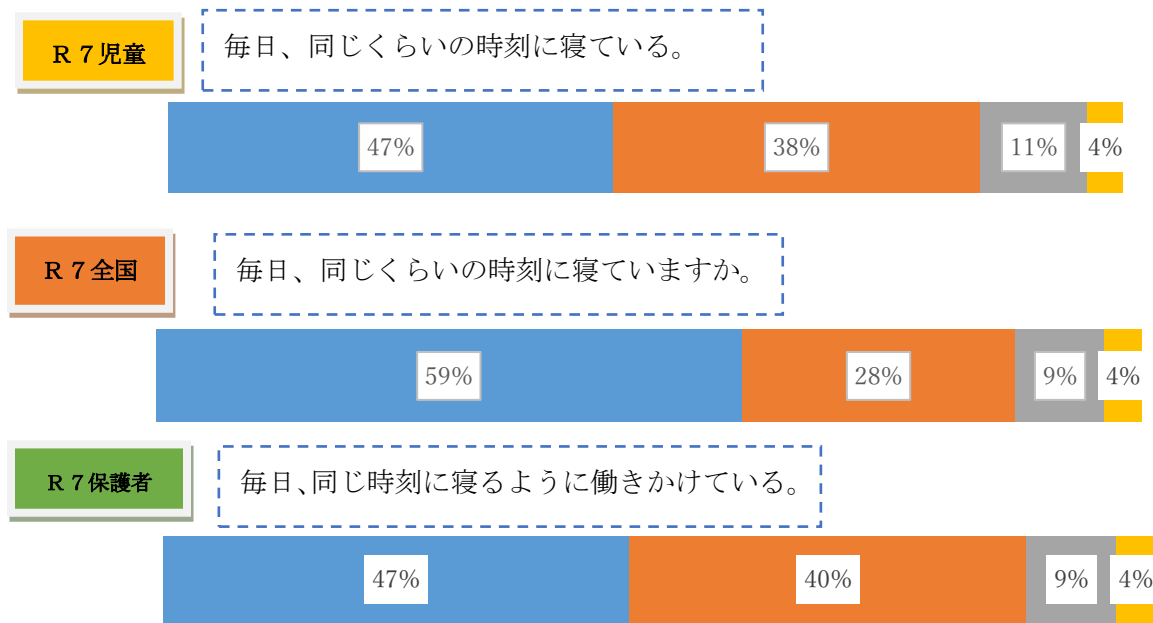
児童アンケート項目「友だち関係に満足しています。」の結果を見ると9割以上の児童が満足していると回答しています。この結果は全国学力調査質問紙の「友だち関係に満足しています。」と比較しても遜色ない結果になっています。また、保護者アンケート項目「お子たちは友だちと仲良く学校生活を送っている。」の結果を見ると8割以上の保護者の方が友だちと仲良く学校生活を送っていると回答しています。ただ、友だち関係に満足していても、学校へ行くのが楽しいと答えていない児童も回答結果から分かります。児童一人ひとりの学びや生活の様子を丁寧に観察し、理解していこうと思います。

3 「健やかな体」の育成に向けて

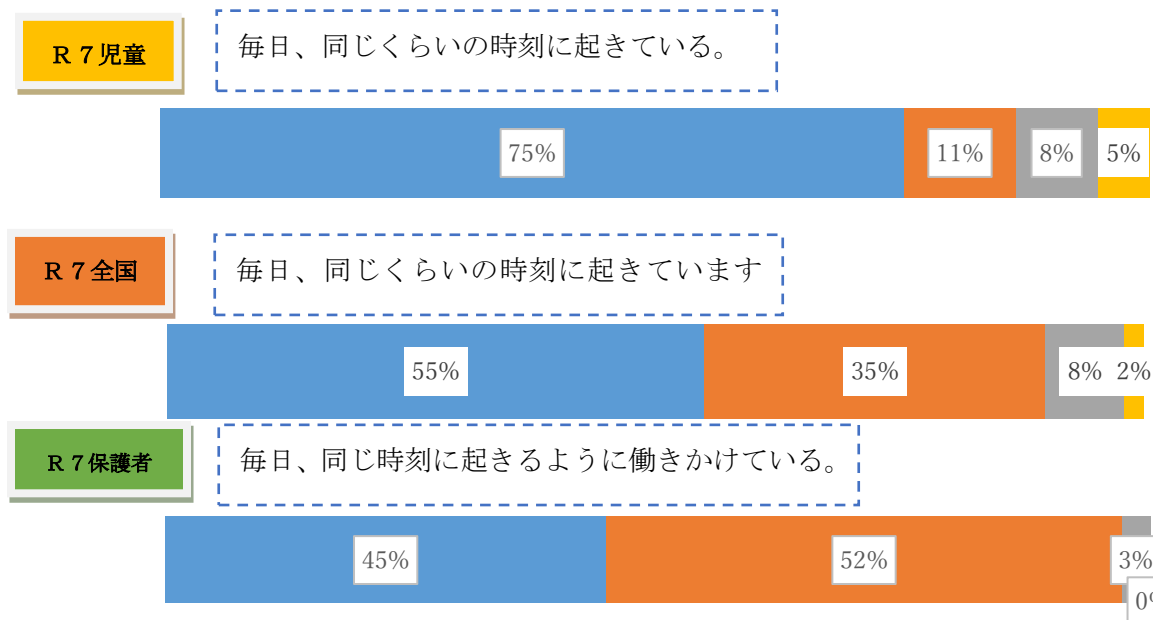
健やかな体の育成のためには学校や家庭、地域が協力して子どもたちに呼びかけていくことが大切です。そのためには規範意識をもち、規則正しい生活をするのが必須になると考えます。学校や家庭での子どもたちの様子を正確に把握し、健やかな体の成長を目指していきたいと思っています。



児童アンケート項目「朝食を毎日食べている。」の回答結果を見ると、ほぼ100%の児童が朝食を食べています。これは全国学力調査質問紙「朝食を毎日食べていますか」と比較しても遜色ない結果になっています。しかし、「そう思う」の結果だけで比較すると本校児童が下回っていることが分かります。保護者アンケート項目「しっかり朝食をとるように働きかけている。」の回答結果を見るとほぼ100%のご家庭で働きかけをしていただいています。朝食は1日を元気に過ごすうえで、とても大切です。今後も学校と家庭が協力して呼びかけていけたらと思います。



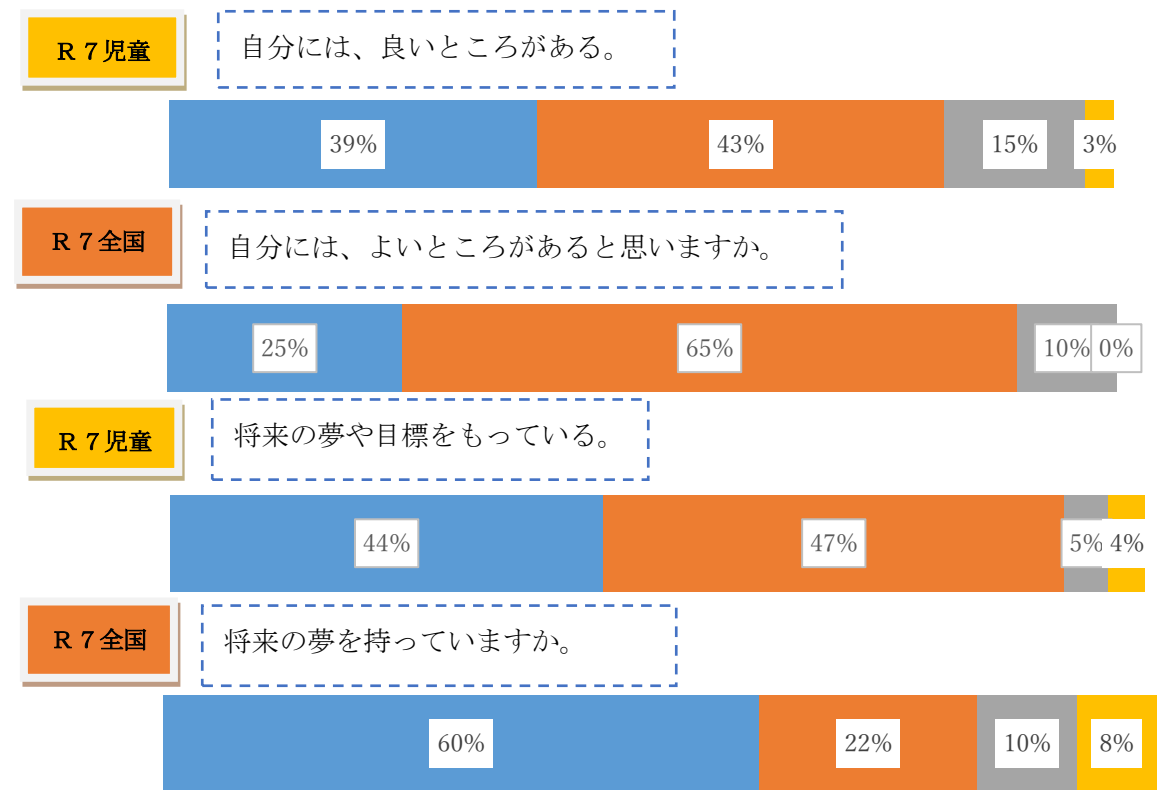
児童アンケート項目「毎日、同じくらいの時刻に寝ている。」の回答結果を見ると、85%の児童がそう思うと回答している。これは全国学力調査質問紙「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。」と比較しても遜色ない結果になっています。また、保護者アンケート項目「毎日、同じ時刻に寝るように働きかけている。」の回答結果を見ても87%のご家庭で働きかけをしていただいています。



同様に起きる時刻に関する結果です。児童アンケート項目「毎日、同じくらいの時刻に起きています。」の回答結果を見ると、86%の児童がそう思うと回答している。これは全国学力調査質問紙「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。」と比較しても遜色ない結果になっています。「そう思う」だけに着目すると大幅に上回っています。また、保護者アンケート項目「毎日、同じ時刻に起きるように働きかけている。」の回答結果を見ても97%のご家庭で働きかけをしていただいています。

睡眠は食事と同じくらい体づくりには欠かせないことです。また、毎日同じリズムで過ごすことはとても大切です。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

4 その他



ここ数年、児童と話をしたり、授業中の発言を聞いたりしていて気になることがあります。それは児童の自己肯定感が低く取れるような発言が多いことです。そこで、上記のようなアンケート項目を設け、児童が自身についてどのような思いを持っているかを知る機会としました。

児童アンケート項目「自分には、良いところがある。」では82%の児童が「そう思う」「大体そう思う」と回答しています。全国学力調査質問紙「自分には、よいところがあると思いますか。」と比較すると「あまりそう思わない」「そう思わない」と回答している児童が多いことが気になります。

ただ、児童アンケート項目「将来の夢や目標をもっている。」と全国学力調査質問紙「将来の夢を持っていますか。」を比較すると本校児童の方が夢や目標をもっていることが分かります。今後も児童に寄り添い、自信をもって多くのことに挑戦する児童を育てていきたいと思っています。